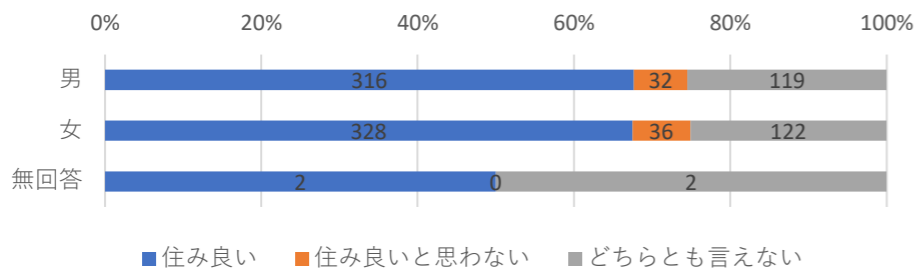
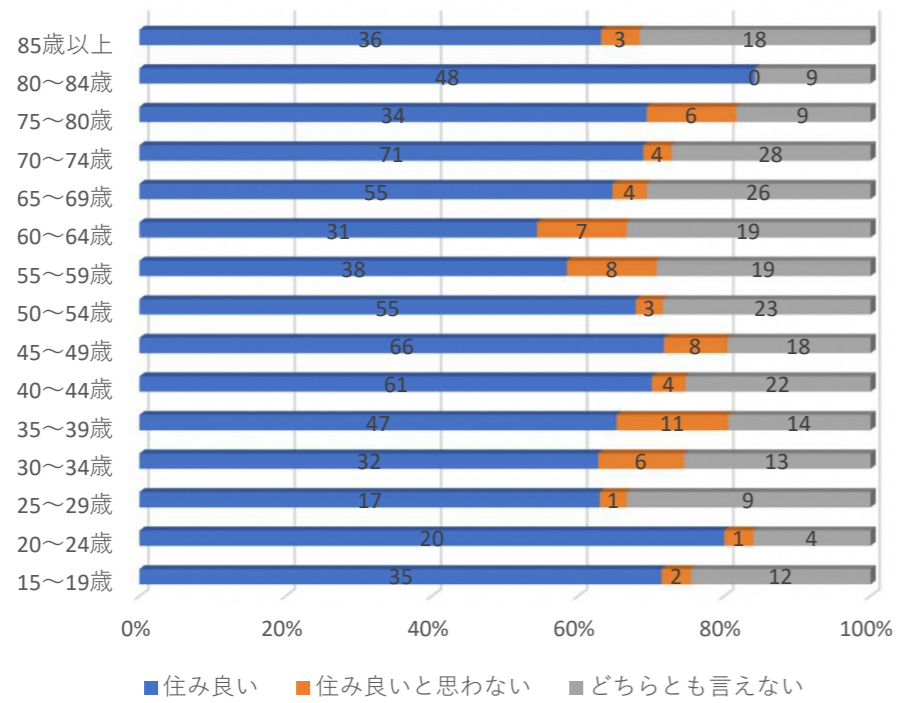


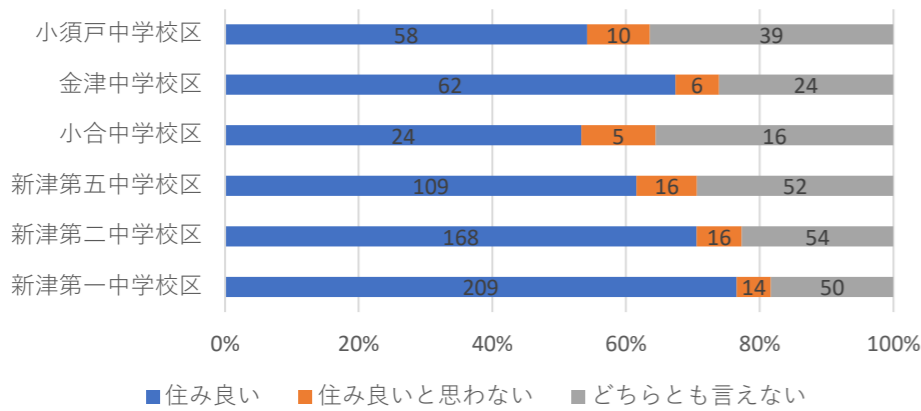
問2 秋葉区は住み良いか（性別）



問2 秋葉区は住み良いか（年代別）



問2 秋葉区は住み良いか（居住地区別）

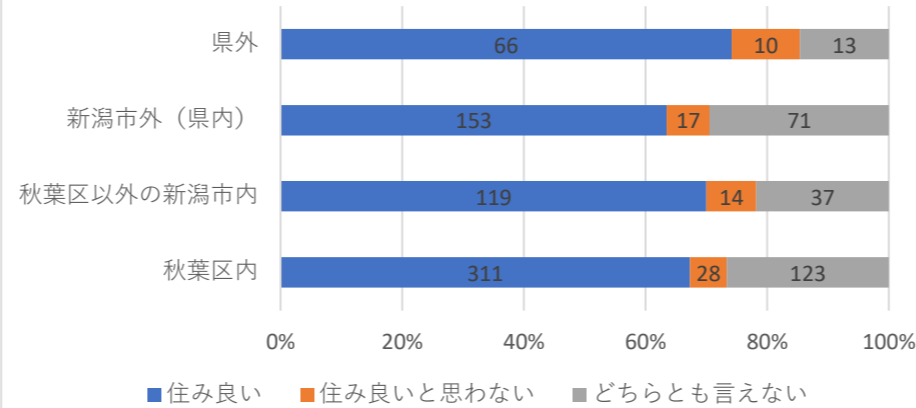


<クロス集計>

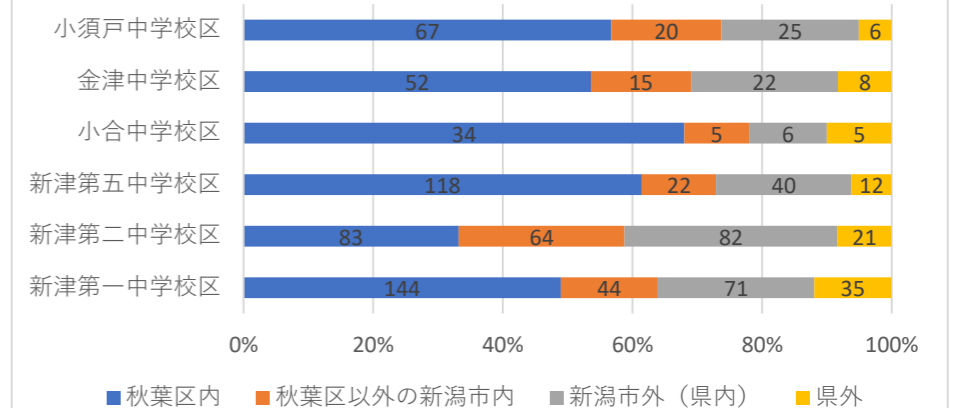
## 秋葉区は住み良いか

- 性別による差はほとんど見られない
- 80代前半と20代前半の値が高く、25～34歳と55～64歳の値が低い
- 居住地区により、「住み良い」の割合が53%～77%の開きがある
- 県外出身者が「住み良い」と答えた割合が若干高い
- 「住み良い」と「地域の助け合い」の間には一定の相関性が認められる

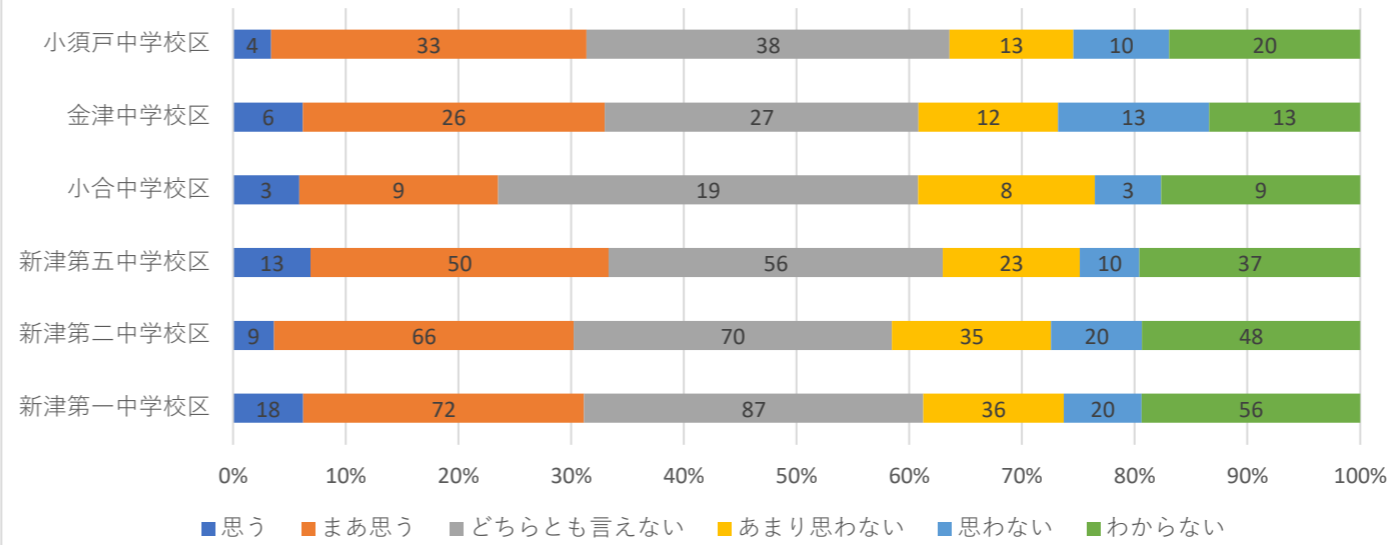
問2 秋葉区は住み良いか（出生地別）



居住地区と出生地



問10-3 住んでいる地域では困った人への助け合いはできているか（居住地区別）

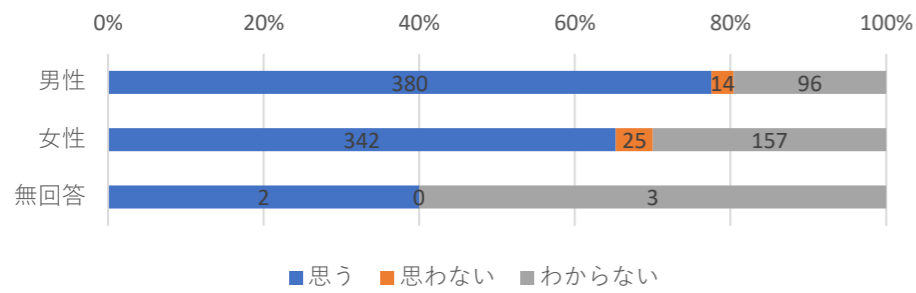


<クロス集計>

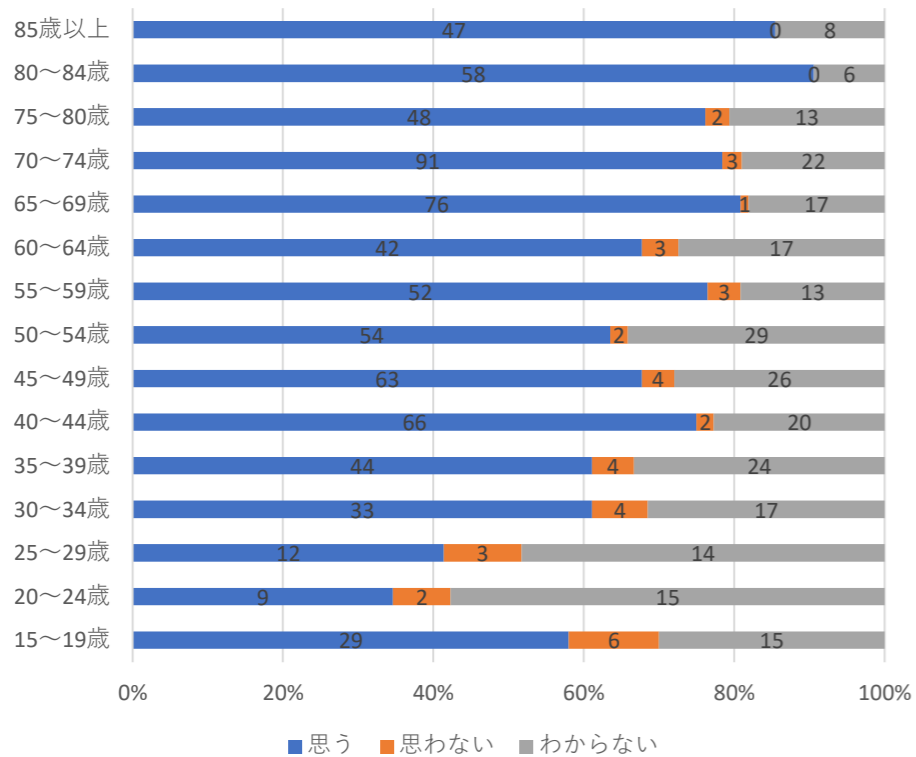
## 秋葉区に住みたいと思うか

- 男性（78%）の方が女性（65%）よりも住みたいと思っている人が多い
- 概して、年代が下がる「わからない」と答える傾向がある
- 特に20代の若者の「思う」が50%を下回る低い値となっている
- 居住地区により、「思う」の割合が63%～79%の開きがある
- 居住地区別の、「住み良い」と「（住みたいと）思う」の間に一定の相関性が認められる
- 秋葉区内で生まれた人は79%が「思う」と答えており、それ以外が60%台で明確な開きがある

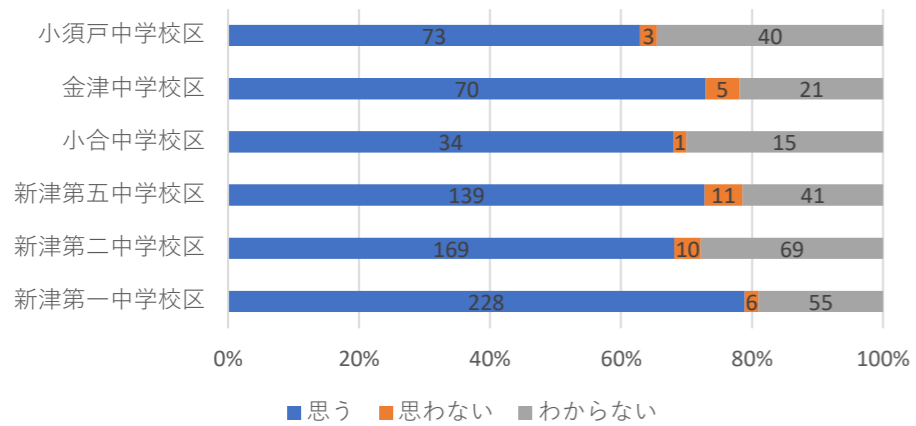
問3 秋葉区に住みたいと思うか（出生地別）



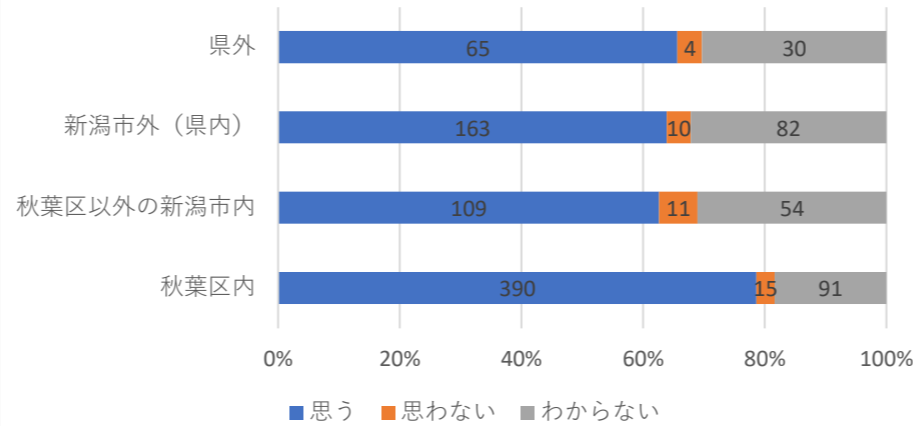
問3 秋葉区に住みたいと思うか（年代別）



問3 秋葉区に住みたいと思うか（居住地区別）



問3 秋葉区に住みたいと思うか（出生地別）

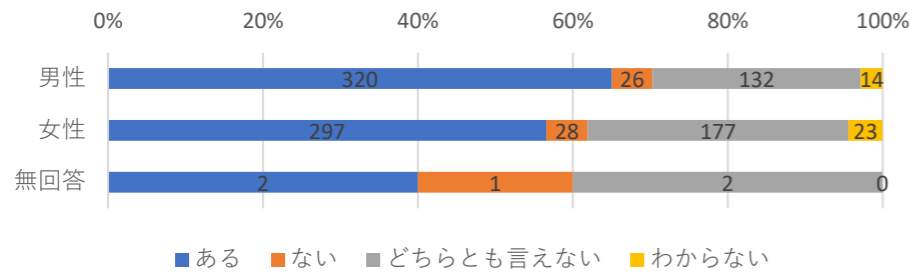


<クロス集計>

## 秋葉区に愛着があるか

- 65%の男性、57%の女性が「ある」と答えている
- 性別で見ると「住み続けたい」と「愛着」には明らかな相関性がある
- 15～24歳、70～84歳の層が特に愛着を感じていて、年代による差が大きい
- 25～29歳の若者の半分以上が「どちらとも言えない」または「わからない」と答えている
- 居住地区により、「ある」の割合が53%～69%の開きがある
- 出生地別では、秋葉区内生まれの72%が「ある」と答えており、最も愛着が高い
- 県内よりも県外からの移住者の方が高い愛着（61%）を示している

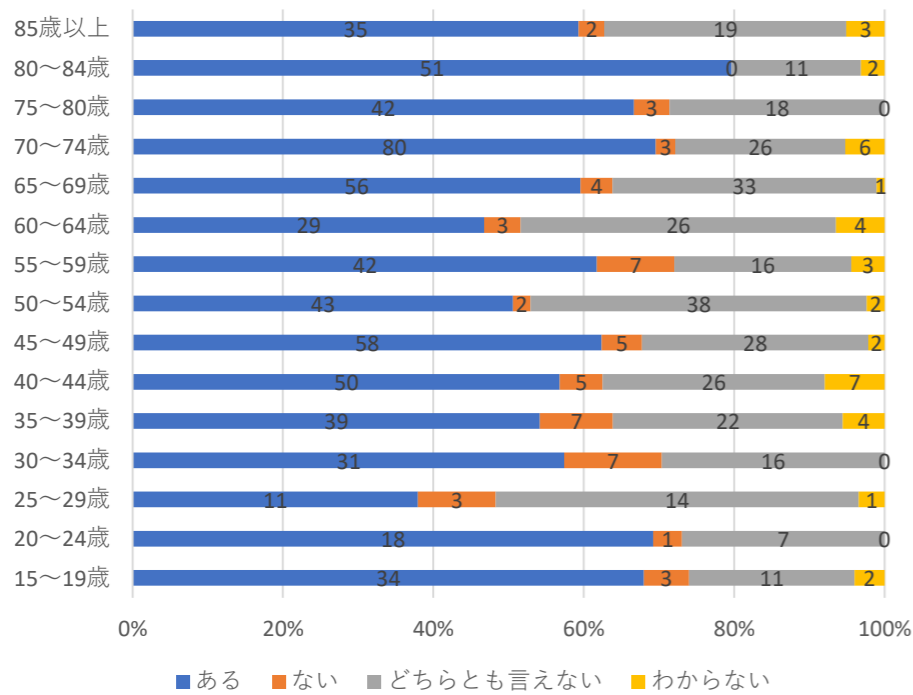
問4 秋葉区に愛着があるか（性別）



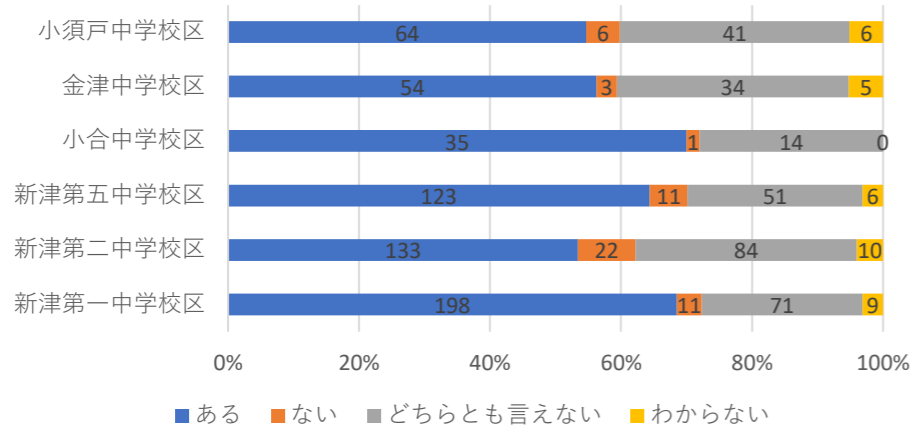
0.650407

0.565714

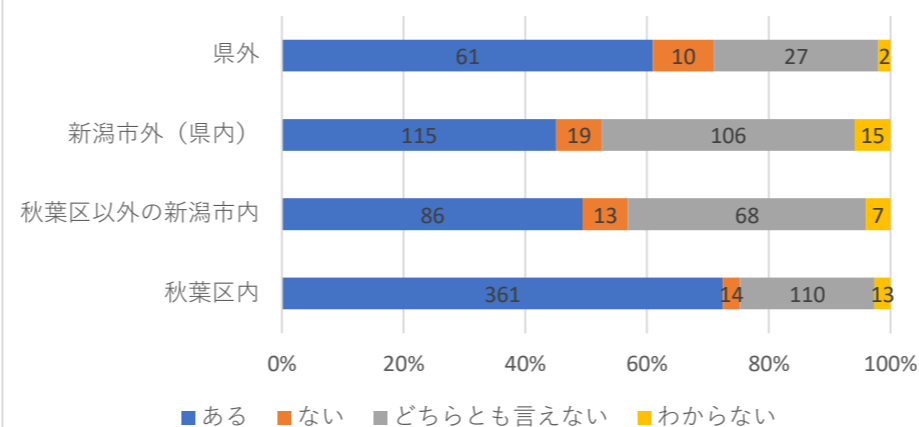
問4 秋葉区に愛着があるか（年代別）



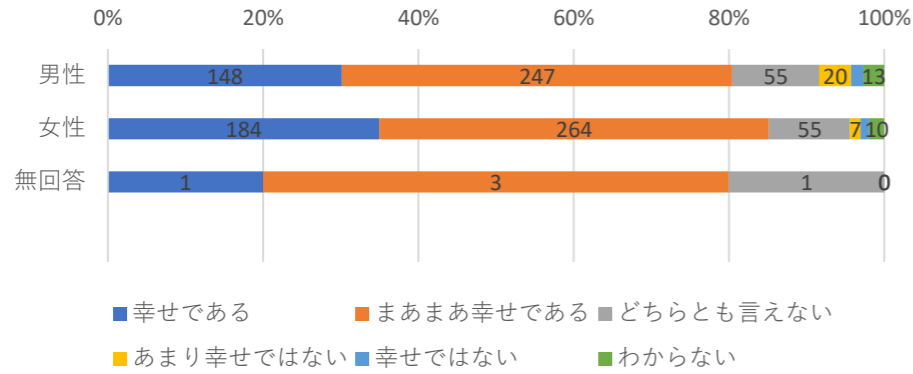
問4 秋葉区に愛着があるか（居住地区別）



問4 秋葉区に愛着があるか（出生地別）



問19 あなたは現在幸せか（性別）

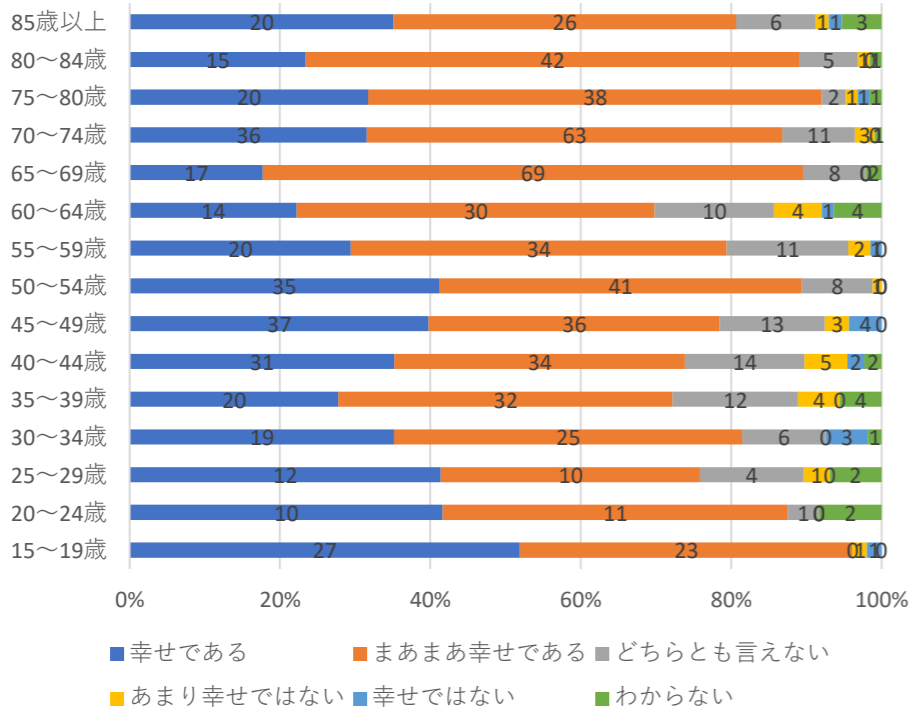


<クロス集計>

## あなたは現在幸せか

- 「幸せである」と「まあまあ幸せである」を合わせた値は女性の方がやや高い(86%)
- どの年代も70%以上が幸せを感じているが、15～19歳の値が96%と最も高い
- 居住地区により、幸せを感じている割合が74%～88%の開きがある
- 出生地別による大きな差異はないが、「幸せである」と答えた割合が最も大きいのは県外出身者(40%)である

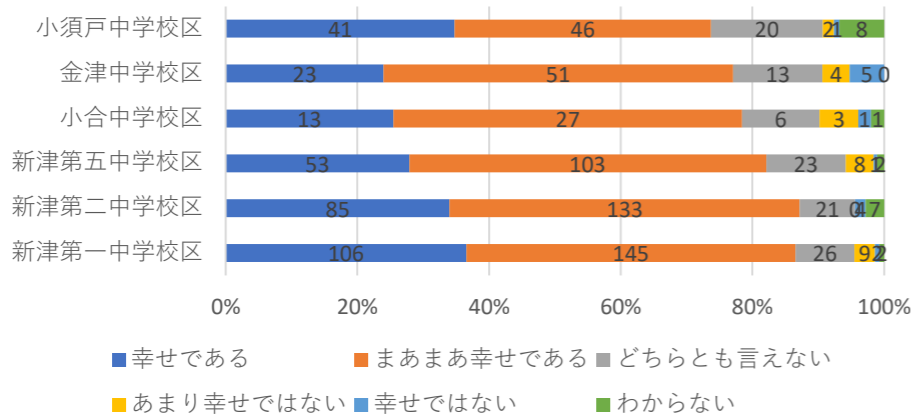
問19 あなたは現在幸せか（年代別）



## 「住み良い」「住み続けたい」「愛着」「幸せ」の4指標によるクロス集計のポイント

- 女性は男性に比べて幸福感は高いが「住み続けたい」「愛着」が低い
- 年代別では4指標全てで25～29歳の値の低さが目立つ
- 居住地区別では4指標全てで新津第一中学校区の値の高さが目立つ
- 小合中学校区は高い愛着を示す一方で「住み良い」「住み続けたい」の値が比較的低い
- 出生地別では秋葉区生まれが「住み続けたい」「愛着」の値が高い
- 「住み良い」と「地域の助け合い」の間には一定の相関性が認められる
- 幸福感は概ねどの層も高いが、他の3指標との相関性は顕著ではない（「幸せ」が必ずしも「住み良い」「住み続けたい」「愛着」に結びついていない）

問19 あなたは現在幸せか（居住地区別）



問19 あなたは現在幸せか（出生地別）

